



東証一部上場  
証券コード:7230

私たちのテーマは

# 環境と安心

第58期

2010年4月1日～2011年3月31日

## 株主通信



日信工業株式会社

## 基本理念

心の豊かさ 貢献

## 社 是

常に、世界の変化に先がけて、  
お客様と社会のニーズに応え、  
優れた商品と技術とアイデアを供給する

## 行動指針

わたしたちは

- 夢と若さと情熱をもちつづけます
- 日々、研究と改善につとめます
- 時と物を大事にします
- 活力ある明るい職場をつくります
- 社会の一員としての自覚と責任をもちます
- 地球環境保全につとめます

### Contents

株主の皆様へ	1
トピックス	3
財務情報	5
会社情報	裏表紙

表紙

初夏の奥裾花自然園

## 株主の皆様へ

「環境」と「安心」をテーマとした商品の開発、提供により  
競争力強化と将来の成長基盤構築に努めてまいります。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び  
申し上げます。また、平素から格別のご高配を賜り、  
誠にありがとうございます。この度取締役社長に就任  
いたしました大河原栄次でございます。ここに第58期  
の事業概要につきましてご報告申し上げます。

当期の経済情勢を概観しますと、世界経済は中国、  
インド等の新興国経済を牽引役として、総じて緩やかな  
回復基調をたどりました。米国経済は、雇用の改善や  
減税効果による個人消費の回復と新興国向けを中心と  
した輸出の増加に支えられ、期後半から徐々に回復  
のペースを強めました。欧州経済は、周縁国で緊縮  
財政による内需の低迷が続いたものの、主要国では  
新興国向け輸出が堅調に推移し、全般的には持ち直しました。また、中国経済は、堅調な輸出  
と企業の設備投資増加に加え、所得環境の改善による個人消費の底堅い推移により、順調な  
成長ペースを維持しました。インド、アセアン地域でも各国の堅調な内需と域内需要の拡大を  
受けた輸出の増加により、経済の拡大傾向が続きました。

一方、わが国経済は、政策効果の反動が一巡し、輸出の伸びが回復する中で、「踊り場」から  
脱却しつつありましたが、東日本大震災の発生により状況は急転し、物流停滞による生産活動  
の縮小に加えて、消費マインドの急速な悪化により、先行き不透明感が広がりました。

自動車需要は、米国では、景気の持ち直しや販売金融環境の改善などを受けて底堅い回復  
が続きました。一方、欧州では、主要国での政策効果の剥落が一巡し、漸く販売減少に歯止め  
が掛かりましたが、全体の需要は前年比ほぼ横ばいにとどまりました。また、国内では、昨年  
9月まで実施された政府の販売支援策で需要が喚起され、期前半は堅調に推移しましたが、  
販売支援策終了後は反動による需要の伸び悩みが続きました。

一方、アジアでは、中国で2010年(暦年)の自動車販売台数が一国としては史上最高と  
なり、インド、アセアン諸国でも経済成長を背景に順調な需要拡大が続きました。



代表取締役社長

大河原 栄次

## 業績について

このような環境のもと、業績につきましては、売上面では、中国市場の好調とアセアンをはじめとした全地域の市場回復により、円高による為替影響はありましたものの、前期比増収となりました。また、利益面では、増収効果と日本、北米など全地域での原価低減活動の成果により、円高や原材料高騰の影響はありましたものの、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前期比大幅増益となりました。

なお、期末配当金につきましては、予定通り1株あたり12円(年間配当金24円)とさせていただきます。

## 当社の取り組みについて

世界の経済情勢を展望しますと、米国経済は、雇用情勢の改善と好調な企業活動に下支えられ、緩やかな回復傾向が続くものと予想されます。欧州経済は、周縁国で緊縮財政による内需の低迷が続くものの、主要国の堅調な輸出を背景に全般的には持ち直しの動きを維持すると見られます。また、中国経済は、政府のインフレ対策強化により拡大のペースにやや減速の兆しが見られるものの、引き続き安定的な成長を続けるものと予想しております。インド・アセアン地域でもインフレ懸念が台頭しつつありますが、各国の堅調な内需と域内需要の拡大を受けた輸出の増加により、景気の拡大傾向は続くものと見られます。

一方、わが国経済は、政策効果の反動が一巡し、輸出の伸びが回復する中で、「踊り場」から脱しつつありますが、東日本大震災の発生により状況は急転し、消費マインドの急速且つ広範な悪化、サプライチェーンの寸断や電力供給不安による生産活動の停滞など

から、期前半は景気後退が続くものと見ております。

自動車需要は、米国では緩やかな景気回復を受けた底堅い需要の持ち直しが続き、欧州でも、主要国を中心に緩やかな回復が続くものと予想されます。また、アジア地域を中心とした新興国では、堅調な経済拡大を背景に引き続き需要が増加するものと予想しております。

一方、国内では、東日本大震災とそれに続く東京電力福島第一原子力発電所の損傷の影響により、サプライチェーン全体に障害が発生し、夏場にかけては電力供給不足も懸念されていることから、少なくとも期前半は生産活動が大きく抑制されると見ております。また、部品供給停滞の影響は海外にも及びつつあり、今後、海外の生産活動も抑制は避けられない見通しとなっております。

このような経営環境のもと、近年の自動車市場の構造変革とエネルギー制約・環境問題の高まりの中で、当社グループは新興国に軸足をおいた現地調達、現地生産の拡大を進めるとともに、環境と安心をテーマとした軽量化商品・高付加価値商品の開発、提供により、足許の競争力強化と将来の成長基盤構築に努めてまいります。

## 平成24年3月期の見通しについて

平成24年3月期の見通しにつきましては、現時点では東日本大震災の影響による顧客等の生産活動の水準が見通せないため、合理的な業績予想の算定ができない状況にあります。したがって、今後業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示させていただきます。

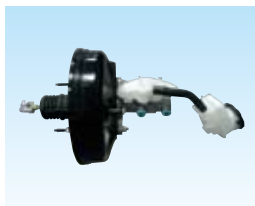
# トピックス

## 新規採用製品の紹介

私たち日信工業は、持ち前のアルミ軽量化技術とブレーキシステム技術で、クルマ社会の「環境」と「安全」に大きく貢献しています。

### 四輪車部門

2011年4月に米国で発売開始となったホンダ新型「シビック」に、当社のコア技術を活かしたブレーキ製品とアルミ製品が採用となりました。ガソリン車に加え、ハイブリッド車の設定もあり、全タイプにVSA (横滑り防止装置) が標準で装備されます。



マスターシリンダー&マスターパワー



ドラムブレーキ(リア)



アルミナックル



# HONDA CIVIC



VSA



エンジンマウントブラケット



ディスクブレーキ(リア)

## 二輪車部門

2011年3月国内発売開始となったホンダ250ccロードスポーツモデル「CBR250R」にタイのニッシン・ブレーキ・タイランド社製の製品が採用となりました。グローバルモデルであるCBR250Rは、タイで生産され、アセアン地域をはじめ、日本、欧州、北米、オーストラリアなど幅広い地域に輸出されます。

# Motorcycle Business



ニッシン・ブレーキ・タイランド



## HONDA CBR250R



リア ディスクブレーキ



フロント ディスクブレーキ

# 財務情報

## 連結貸借対照表

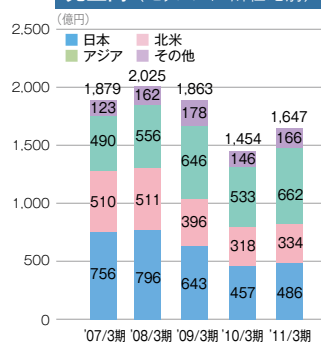
(単位:百万円)

科目	平成22年3月末 (10/3/31)	平成23年3月末 (11/3/31)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	24,877	33,176
受取手形及び売掛金	23,355	22,119
有価証券	—	2,021
商品及び製品	3,698	4,114
仕掛品	1,881	2,161
原材料及び貯蔵品	11,786	11,600
その他	3,538	3,762
貸倒引当金	△17	△15
<b>流動資産合計</b>	<b>69,118</b>	<b>78,938</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	10,649	9,760
機械装置及び運搬具(純額)	25,193	20,870
工具、器具及び備品(純額)	1,855	1,589
土地	5,521	5,466
リース資産(純額)	428	392
建設仮勘定	1,428	2,932
<b>有形固定資産合計</b>	<b>45,073</b>	<b>41,008</b>
無形固定資産	999	899
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	14,396	13,043
その他	1,356	1,066
貸倒引当金	△92	△37
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>15,660</b>	<b>14,072</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>61,731</b>	<b>55,978</b>
<b>資産合計</b>	<b>130,850</b>	<b>134,917</b>

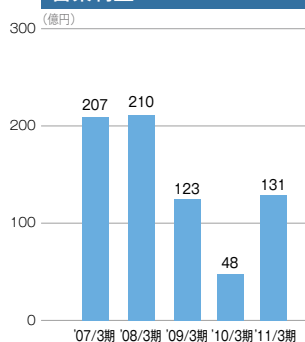
(単位:百万円)

科目	平成22年3月末 (10/3/31)	平成23年3月末 (11/3/31)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	18,257	17,579
短期借入金	1,114	2,779
未払金	3,861	4,465
未払法人税等	371	787
役員賞与引当金	—	54
災害損失引当金	—	36
その他	2,760	3,210
<b>流動負債合計</b>	<b>26,364</b>	<b>28,911</b>
<b>固定負債</b>		
退職給付引当金	1,520	1,473
その他の引当金	15	17
その他	4,211	4,645
<b>固定負債合計</b>	<b>5,747</b>	<b>6,136</b>
<b>負債合計</b>	<b>32,110</b>	<b>35,047</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	3,694	3,694
資本剰余金	3,419	3,419
利益剰余金	77,596	82,992
自己株式	△101	△771
<b>株主資本合計</b>	<b>84,609</b>	<b>89,334</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	5,736	5,430
繰延ヘッジ損益	△38	△0
為替換算調整勘定	△6,780	△10,159
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>△1,082</b>	<b>△4,729</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>15,213</b>	<b>15,264</b>
<b>純資産合計</b>	<b>98,739</b>	<b>99,870</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>130,850</b>	<b>134,917</b>

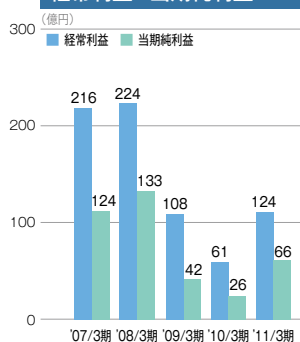
## 売上高 (セグメント・所在地別)



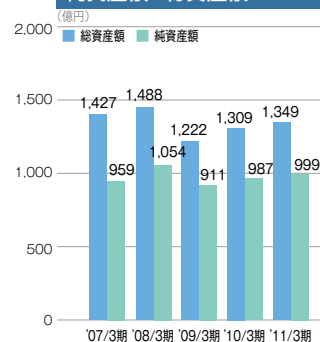
## 営業利益



## 経常利益・当期純利益



## 純資産額・総資産額



連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	平成22年3月期 (09/4~10/3)	平成23年3月期 (10/4~11/3)
売上高	145,353	164,733
売上原価	131,649	142,244
<b>売上総利益</b>	<b>13,704</b>	<b>22,489</b>
販売費及び一般管理費	8,874	9,431
<b>営業利益</b>	<b>4,830</b>	<b>13,058</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息	461	577
受取配当金	156	225
持分法による投資利益	5	-
為替差益	508	-
雑収入	564	386
<b>営業外収益合計</b>	<b>1,694</b>	<b>1,188</b>
<b>営業外費用</b>		
支払利息	92	54
持分法による投資損失	-	576
為替差損	-	802
減価償却費	68	55
貸倒引当金繰入額	55	-
雑支出	198	346
<b>営業外費用合計</b>	<b>413</b>	<b>1,833</b>
<b>経常利益</b>	<b>6,111</b>	<b>12,413</b>
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	32	40
投資有価証券売却益	-	26
貸倒引当金戻入額	-	44
製品保証引当金戻入額	45	-
<b>特別利益合計</b>	<b>77</b>	<b>110</b>
<b>特別損失</b>		
固定資産売却損	17	27
固定資産廃棄損	157	95
投資有価証券売却損	-	67
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	43
災害による損失	-	91
災害損失引当金繰入額	-	36
<b>特別損失合計</b>	<b>174</b>	<b>359</b>
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>6,015</b>	<b>12,164</b>
法人税等	1,938	2,833
少数株主損益調整前当期純利益	-	9,331
少数株主利益	1,479	2,693
<b>当期純利益</b>	<b>2,597</b>	<b>6,638</b>

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	平成22年3月期 (09/4~10/3)	平成23年3月期 (10/4~11/3)
少数株主損益調整前当期純利益	-	9,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	△303
繰延ヘッジ損益	-	37
為替換算調整勘定	-	△4,344
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△97
その他の包括利益合計	-	△4,707
<b>包括利益</b>		<b>4,624</b>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	-	2,991
少数株主に係る包括利益	-	1,632

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	平成22年3月期 (09/4~10/3)	平成23年3月期 (10/4~11/3)
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,969	18,872
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,735	△8,448
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,170	△1,280
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,396	△1,104
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	4,459	8,040
現金及び現金同等物の期首残高	20,163	24,622
現金及び現金同等物の期末残高	24,622	32,663

経営成績に関する分析

当期の連結経営成績

当連結会計年度は、世界経済の緩やかな回復を受けて、自動車需要も総じて回復傾向が続きました。また、円相場は対ドルでは急速に円高が進行したものの、新興国通貨に対しては高安まちまちの動きとなりました。その結果、連結経営成績は、売上高では前期比19,380百万円(同増減率13.3%)の増収となり、営業利益は増収効果及び全地域での原価低減活動により、前期比8,228百万円(同増減率170.3%)の大幅増益となりました。

■ 日本

【売上】:市場の回復による二輪車・四輪車メーカー各社の生産台数の増加と新型車の立上り効果により、震災による減収影響はあったものの、48,564百万円と前期に比べ6.3%の増収となりました。

【営業利益】:増収に伴う利益の増加、原価低減効果及び減価償却費減少などにより、震災影響及び為替影響などはあったものの、2,498百万円と前期に比べ3,049百万円の改善となりました。

■ 北米

【売上】:為替影響はあったものの、市場の回復による二輪車・四輪車メーカーの増産効果により、33,361百万円と前期に比べ5.1%の増収となりました。

【営業利益】:円高による為替影響などはあったものの、増収に伴う利益の増加及び原価低減効果などにより、365百万円と前期に比べ636百万円の改善となりました。

■ アジア

【売上】:中国における市場の好調と現地生産拡大、インドネシア・タイ・ベトナム市場の回復による二輪車・四輪車メーカー各社の増産効果により、為替影響はあったものの、66,228百万円と前期に比べ24.2%の増収となりました。

【営業利益】:増収に伴う利益の増加、原価低減効果及びルビア・パーツ高による為替影響などにより、原材料高騰影響などはあったものの、7,538百万円と前期に比べ3,166百万円の増益となりました。

■ 南米・欧州

【売上】:ブラジル市場の回復による二輪車メーカー各社の増産効果及び為替影響、欧州の大型二輪車の増加により、16,580百万円と前期に比べ13.7%の増収となりました。

【営業利益】:増収に伴う利益の増加、原価低減効果などにより、2,216百万円と前期に比べ1,015百万円の増益となりました。

# 会社情報

## ■ 会社概要

商号	日信工業株式会社		
英文社名	NISSIN KOGYO CO.,LTD.		
設立	1953年10月		
事業内容	四輪車及び二輪車向けブレーキ装置及びアルミ製品等の開発、製造、販売		
資本金	36億94百万円 (2011年3月31日現在)		
従業員数	2,158人 (2011年3月31日現在)		
役員	代表取締役社長	大河原 栄次	
	代表取締役副社長	上田 勝俊	
	専務取締役	柳沢 秀明	
	専務取締役	檜森 啓二	
	常務取締役	岸本 明彦	
	常務取締役	菅沼 博之	
	常務取締役	別府 潤一	
	取締役	玉井 尚利	
	取締役	手塚 一夫	
	取締役	寺田 健司	
	監査役(常勤)	美齊津 秀則	
	監査役(常勤)	坂下 潔	
	監査役	小口 憲政	
	監査役	松本 榮一	

(2011年6月17日現在)

## ■ 株主優待制度について

- (1) 対象株主 毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に記載された300株以上保有の株主様
- (2) 優待内容 ①300~999株保有の株主様：3,000円相当の商品  
②1,000株以上保有の株主様：5,000円相当の商品
- (3) 贈呈時期 3月31日現在の株主様へは6月中、9月30日現在の株主様は12月中の送付(年2回)



3,000円相当の商品

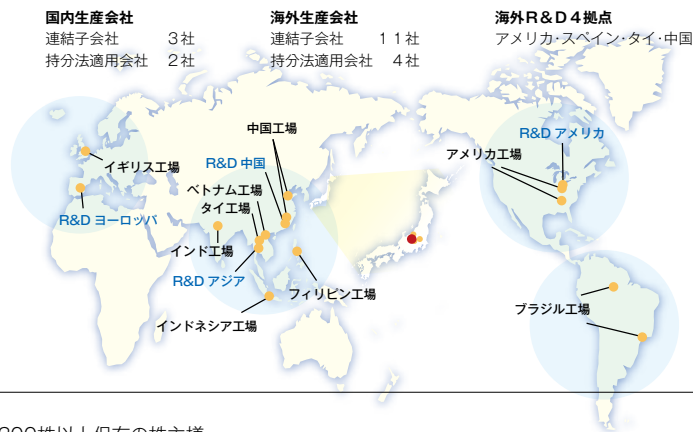


5,000円相当の商品

## ■ 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
利益配当金支払株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施するときの中間配当金支払株主確定日は9月30日であります。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行
同連絡先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行 証券代行部 TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により実施 <a href="http://www.nissinkogyo.co.jp/investors/index.html">http://www.nissinkogyo.co.jp/investors/index.html</a>

## グローバルネットワーク



## 日信工業株式会社

本社 〒386-8505 長野県上田市国分840 番地 TEL 0268-24-3111 (代表) FAX 0268-24-7520

<http://www.nissinkogyo.co.jp>